

| | | | | | |
|---------|--------------------------|----------|--------------------|------|------------|
| 科目分類 | 一般教養科目 人間と社会 | | 開講時期 | 1年 | 前期 |
| 授業科目 | 国際理解入門 | | | | |
| 選択/必修 | 選択 | 単位数(時間数) | 2単位 | 30時間 | 授業形態 講義 |
| 担当教員 | 大下 邦幸 | | | | |
| メールアドレス | ohshita@tsuruga-nu.ac.jp | オフィスアワー | 指定なし。 事前連絡すること。 | | |

| | |
|---------------|--|
| 授業目的 | 国際理解に必要な知識・技能を学ぶことにより、国際理解能力を高める。 |
| 授業概要 | 現代はグローバル社会と呼ばれ、このグローバル社会では、国際理解の能力が益々要求されるようになる。本授業では、国際理解に必要な知識・技能を異文化理解のプロセスや実際の事例から学ぶとともに、世界市民としての資質とは何かについての理解を深める。 |
| 授業内容 | 第1回 オリエンテーション 第2回 国際理解の基礎としての異文化理解 第3回 文化理解とカルチャー・ショック 第4回 文化摩擦を生む原因 第5回 文化相対主義とクラックホーン・モデル 第6回 異文化間コミュニケーションのルール 第7回 文化摩擦の実際(1) 第8回 文化摩擦の実際(2) 第9回 文化摩擦の実際(3) 第10回 文化摩擦の実際(4) 第11回 国際理解とグローバルイシュー 第12回 国際理解とグローバルシティズン 第13回 国際理解に必要な知識・能力・技能(1) 第14回 国際理解に必要な知識・能力・技能(1) 第15回 まとめ 第16回 テスト |
| 教科書 参考書等 | 教科書：プリント教材を用いる 参考書：佐野正之他著『異文化理解のストラテジー』大修館書店 直塚玲子著『欧米人が沈黙するとき－異文化間のコミュニケーション』大修館書店 Kobayashi, J. & Alter, J. B. <i>Coping with Culture Shock</i> . Seibido. |
| 成績評価 基準・方法 | 試験(80点)並びに授業への参加状況(20点) |
| 履修要件 | なし |
| 留意事項 その他 | 授業は予習を前提とするので、教科書、参考図書、資料によく目を通しておくこと。 |